



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



会長・幹事殿



Contents

- | | |
|---|------------------------------|
| 02 ガバナーメッセージ | 12 地区活動報告 (2025 年 12 月) |
| 04 職業奉仕月間にあたり | 14 文庫通信 |
| 05 第 2590 地区の更なる活性化を願って
…パストガバナーリレー⑥ | 15 地区広報活動 (ポリオ根絶) 報告 パート② |
| 06 第 54 回ロータリー研究会報告 | 16 他地区の地区大会に参加して② |
| 08 第 54 回ロータリー研究会 裏方奮闘記 | 18 第 2590 地区ローターアクトニュース |
| 10 地区活動報告 (2025 年 11 月) | 19 新会員のご紹介／訃報 |
| | 20 2025 年 11 月会員数報告 (RC・RAC) |

第 54 回ロータリー研究会

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-26年度 R1 会長メッセージ



A Happy New Year & Happy Birthday !

子どもの頃に受け取った年賀状にはいつも、このように書かれていました。

私の名前「正一」は、誕生日である「正月一日」から、父親が名付けたとのことです（たまたま長男でもあったので）。みんなから「おめでたい」と言われましたが、子ども時代はまったくと言っていいほどおめでたいことはなく、ほとんどの場合、お年玉と誕生日プレゼントが一緒にされていました。小学校の3年くらいからは「誤魔化されていた！ 損した」と思うようになりました。

さて、今月は「職業奉仕」月間です。「人を欺くことなく、誠実に自身の仕事を全うし、社員や協力会社（者）とも真摯に向き合い、その姿勢をもって社会に奉仕する」ということが職業奉仕の一番簡単な定義ではないかと思っています。子どものころお年玉と誕生日プレゼントと一緒にされていた私は、当時なんとなくモヤモヤしていましたので、私の親や親戚には、ロータリーの職業奉仕の理念と、四つのテストの「みんなに公平か」を教えてあげたかったです。すみません、自分の誕生日の話をイントロにもってきてなんとか職業奉仕の話に関連づけようとしたが、ちょっと無理がありました（笑）。

ロータリーに入会して、初めて耳にする言葉が多く戸惑ったことを覚えています。「地区からの来信」「卓話」「米山」「平和フェロー」「ガバナー」「ポール・ハリス」などなど、沢山ありますが、一番理解できなかった言葉こそが「職業奉仕」でした。「職業」はお金を儲けるもの、そのお金儲けの手段が、どうして「奉仕」と言えるのか？「職業」は職業であり、「奉仕」とは違うよなあと、いつもモヤモヤしていました。

- 職業で得た利益を社会に還元する、寄付することですか？ No!
- 職業で得た知識を使い地域やクラブに何かを提供することですか？ No!
- 余った商品（食品）などを無償で提供することですか？ No!

そんなときにある先輩会員が「大塚君、そんなに難しく考えなくていいですよ。要は『仕事を続けなさい』ということです。仕事、つまり職業は、社会に対する奉仕（職業倫理として助け合いの気持ち）であり、（その成果物が）社会への貢献です」と説明してくださいました。その言葉を聞いて私の頭の中で「職業」と「奉仕」という言葉が矛盾なくつながるようになりました。

そんなこともあり、今年度、各クラブへの公式訪問時には「奉仕の理念」とは「他人のことを思いやり、他人のことを助けること（Thoughtfulness of and helpfulness to others）」と伝えさせていただきました。

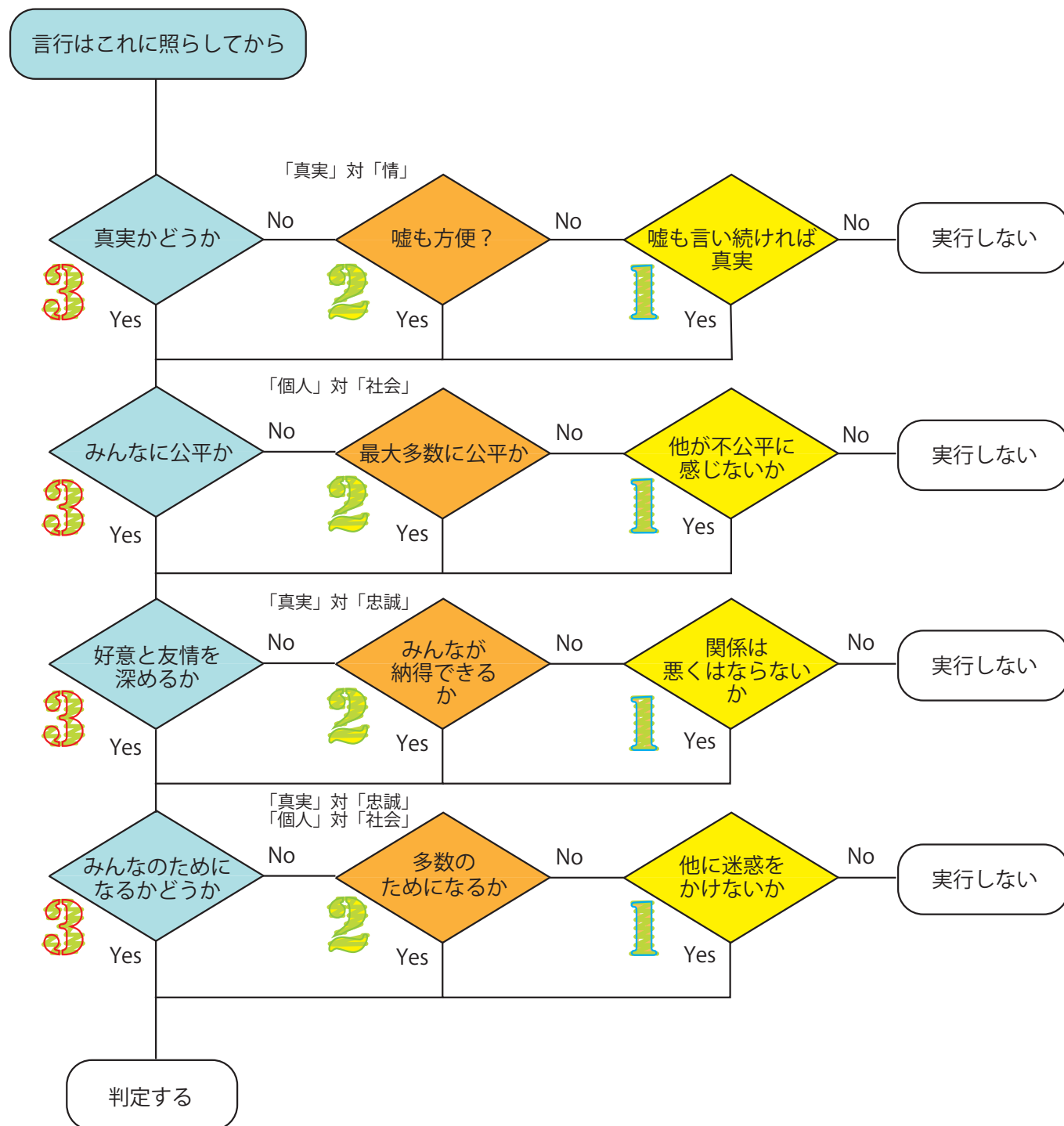
そして、その職業奉仕の実践に必要な規範が「四つのテスト」です。例えば私の会社で規則などを変更する際など、色々な場面で、この「四つのテスト」を規範として当てはめています。右頁のフローチャートは私がその際に使うものです。今までも地区の研修・協議会など様々な機会に使わせていただいたものですが、ここで再度掲載させていただきます。

●「四つのテスト」実践フローチャート

四つのテストを実践するうえでのフローチャートです。

「Yes」と回答したときの列の点数（3点、2点、1点）を合計します。その合計点で実行するかどうかの判断の目安にします。

以下のフローチャートはあくまでもサンプルですので、条件や判断の分岐点における質問事項は自分自身で考えてみてください。



12～10 : 実行する

9～7 : 問題点を解決後、実行する

6～4 : 再検討する



職業奉仕と社会奉仕

地区職業奉仕委員長 桑原 薫（横浜港北）

1905 年、ポール・ハリスは「事業主同士が Trade（商取引）と Talk（情報交換）をするため」に Fellowship（同志の集まり）を創りました。この団体に入って裕福になる者も現れましたが、1906 年に、ドナルド・カーターから「自分達の利益しか考えない団体には入りたくない」と言われてしまいました。そこで 1907 年、ロータリーは Community Service Activities（社会貢献活動）を始めました。

また 1908 年には、Society（利害関係者＝ステークホルダー）に Service（貢献）するため「Service の理論という経営学を集団で学び、この理論を個々人で実践する」という Service（役務）を始めました。

この経営学の核心が「最善の Service（貢献）が最大の利益を生む」という Principle（原理）です。1915 年、哲学委員長グレン・ミードは、この原理を The Ideal of Service（サービスの理想的な原理）と呼びました。なぜなら、Principle = 目指すべき Ideal（理想的な原理）だからです。1918 年、この原理は「企業」の Basis（基本原理）として推奨されました。

つまり、The Ideal of Service は企業原理であり「利益を生む原理」ですが、これが、奉仕の理想（1934）や、奉仕の理念（2012）と訳されたために、真意が伝わりませんでした。なぜなら、Service は利益を生みますが、奉仕は利益を生まないからです。

実は、近世に、Service（仕えること）が「有用な仕事」という意味をもつ一方で、奉仕（仕えること）は「無償の尽力」という意味をもったのです。梅吉翁は Service を「サービス」と訳しましたが、神戸 RC の外国語禁止提案（1934）によって、これが一律「奉仕」に書き換えられたため、様々な誤解が生じました。なぜなら、ロータリーにおいて、Service は「貢献・役務・役目・仕事・部門・訓練」など様々な意味で使われているからです。

1922 年、ロータリーは「商売を成功させる」ための経営学を「真の幸福を掴む」ための Philosophy（哲学・信念・生き方）に変換しました。そして、Service の対象を Society から「全ての人」に拡大したのです。この哲学の一つが「ロータリアンの各々が、個人生活・職業生活・社会生活において、ロータリーの原理を Application（応用）する」という生き方です。

1922 年、ロータリーは「この生き方を貫き、また、これを世に広める」という Movement（運動）を始めました。この運動は Community Service（社会的役務）と名付けられました。

1927 年、Community Service を三分割し、その一つ（職業生活部門）を Vocational Service（職業サービス）と名付けました。つまり、Vocational Service とは「ロータリアンの各々が、職業生活において、ロータリーの原理を応用するという生き方を貫き、また、これを世に広める」という運動につけた名前（固有名詞）なのです。

1934 年、Community Service Activities という活動が「社会奉仕活動」と訳され、Community Service という運動が「社会奉仕」と訳されたため、両者が混同され、話の辻褄が合わなくなってしまいました。このため、Community Service から産まれた Vocational Service が「理解し難いもの」になってしまったのです。今一度、先人の声に耳を傾け、ロータリーの奥深い Philosophy（哲学・信念・生き方）を正しく理解しようではありませんか。



地区独自の強み、潜在的力を活かして 「ロータリーに輝きを」

第2590地区パストガバナー 大野 清一（横浜東）

当第2590地区の更なる活性化には、伝統を大切にしながらも社会環境の変化に合わせて柔軟に進化する姿勢が求められると思います。特に会員の減少や高齢化、地域における国際意識の変化など、全国共通の課題が顕在化する中で、第2590地区が持つ潜在力を引き出し、その魅力を最大限に高めていくことが重要ではないでしょうか。

「参加しやすさの向上」も重要です。例会や委員会の活動が一部の会員の負担になってはいないでしょうか。委員会活動の時間、形式の見直しなど柔軟な運営が求められます。また、新入会員には「所属して終わり」ではなく、「学び合い、成長する場」としての魅力を明確に示すことが重要でありましょう。

次に、第2590地区の独自の強みを活かした地域に密着したプロジェクトとして、横浜と川崎地域は人口密度が高く行政、企業らとの組織と協働し、継続性の高いプロジェクトを構築することで、社会貢献をすべきではないでしょうか。その成果が地域に伝わるほど「ロータリーの価値」が外部から理解され、会員増強にも繋がることでしょう。更に若い世代との接点を広げることも不可欠でしょう。インターアクト、ローターアクトとの連携を強化し、ロータリーの精神を若い世代と共有する場を積極的に創り出して、ロータリーへの未来世代の参加を促進すべきと考えます。

私事ですが、ロータリーの会員になって50年、ガバナー年度を終え早いもので10年が経過いたしました。この間、国際情勢はもとより、国内においても社会変化が多くありました。私のガバナー年度の時のRI会長は、台湾のゲイリー C.K. ホアン氏でした。彼は台湾で初めてのRI会長でありました。彼はロータリー活動をもっと楽しく！会員基盤を強化するだけでなく、より多くの実り多いプロジェクトを実施し、もっと多くの人々にロータリーのメッセージを伝えることで「ロータリーに輝きを」もたらすことが出来る、と断言しておりました。第2590地区がもつエネルギーで「ロータリーに輝きを」もたらし、それを内外に届けることが重要であると考えます。そしてこの地区が「参加したくなる」「関わるほど価値を感じる」組織へ更なる進化をすることを願ってやみません。



第54回ロータリー研究会報告

国際ロータリー第2590地区ガバナー 大塚 正一

昨年度、今年度と2年続けて「ロータリー研究会」がパシフィコ横浜で開催されました。第2590地区エリアで開催されるため、RI会長や理事ご夫妻をお迎えする大役の一員を水野功 RI 理事に依頼されたことは、本当に素晴らしい機会を頂けたと感謝しております。

昨年は、アーチック会長と水野理事の車に同乗させていただき ICU（国際基督教大学）を訪問、その道中は緊張でズーッと沈黙、水野理事に何か話さないよ、と言われましたが、とてもそんな状態ではありませんでした。しかし、何回目かのアーチック会長との会食の席で、アーチック会長が私に話しかけてくださいました。そのときに「ガバナーとして、クラブとして大切な事は『not only meet & eat, but do something』ですよ、忘れないでください」と。この言葉を大切に、ガバナーの職務を果たそうと心に決めました。

今年度はガバナーということで、地区のロータリー研究会特別委員会の委員長を務めましたが、これは肩書きだけで、ほとんどすべてのことは樋口パストガバナーに「おんぶに抱っこ」でした。樋口さん、ありがとうございました。

さて、研究会の内容で一番心に刻まれたことは、身内最良ではありませんが、横浜港北 RC の亀ヶ谷純子会員のパキスタンでのポリオワクチン接種活動の様子のお話でした。圧倒的なパフォーマンスと話の内容に引き込まれました。次頁にその内容が掲載されていますので、是非ご覧ください。

また、同期ガバナーの第2610地区小山ガバナー、第2620地区稲葉ガバナー、第2720地区藤田ガバナー、第2790地区時田ガバナー、そして第2750地区田中ガバナーはご夫妻で登壇されて、ご自分たちの地区の活動の報告をされていました。各地区の現役ガバナーの活動を知る貴重な機会になりました。みなさん、素晴らしいパフォーマンスでした。第2610地区小山ガバナーは元教師ということもあり、内容の良さは当然のことながら、話し方のスピード、イントネーションの付け方など流石だなあと感心させられました。

ロータリー研究会で聴くことのできる色々な方のお話は、地区の今後の活動の参考になります。来年度は大阪での開催になりますが、是非、大勢の地区役員・委員長に参加していただけたらと思います。

さて、地区ロータリー研究会特別委員会の委員長としての、最初で最後のお仕事の事をご報告します。ロータリー研究会が終わった翌日に、スーザン・ステンバーク RI 理事とパートナーのヨランさんを三溪園にお連れしました。ヨランさんは大工さんというご職業柄、三溪園にある古い建物に大変興味を示し、「これは釘を使っていない、見事な建築です」と説明してくださいました。その後、羽田空港までお見送りしお別れました。写真は羽田での私のパートナーとご夫妻の写真です。



～チームポリオ JAPANに参加して・ 忘れられない出会いに感謝



ロータリーの友地区代表委員 亀ヶ谷 純子（横浜港北）

ロータリー研究会2日目のコラボセッションで指名を受け、インドとパキスタンでの忘れられない出会いについて発表。RI 会長初め全国のガバナーやパストガバナーの前での大舞台ですっかり緊張し、ミスもありましたが、一生懸命お話しさせていただけたのは、貴重な経験となりました。

自分たちの寄付がどのように役立っているか？ ポリオワクチン投与活動の現場に、いつかは行ってみたいと言っていた亡夫の願いを受け継いで、主人の七回忌を迎える 2017 年 1 月、青森の関場先生（第 2830 地区パストガバナー）をお願いしてニューデリーの活動に参加しました。インドではポリオ撲滅宣言後もワクチン投与の手を緩めないように、世界中のロータリアンが参加して啓蒙活動を行っていました。初めてのインドで、地元の子供達と一緒に町中をパレードして歩きました。

KEEP INDIA POLIO FREE! 大きな声で町の人々に呼びかけます。

重い旗を高く掲げて、KEEP INDIA POLIO FREE!

ずっと一緒に行進していた少年から交代して旗を受け取り、ありがとうの気持ちで握手の手を差し出した時、その少年は恥ずかしそうに自分の右手を体の後ろに隠してしまいました。

そうだったのです！少年はポリオで右手が固まって使えなかったのです！使える片手で重い旗を高く掲げて叫ぶ彼の叫びは、心からの叫びだったのです。

「僕のような子供を作らないためにポリオワクチンを受けて下さい！」

名前も知らないこの少年の願い、弾けるような笑顔を今でも忘れられません。

インドに4回行った後、パキスタンでの活動に参加しました。

テロの危険が高いため、自動小銃を持った警察や軍隊の警備の中での活動ですが、冷蔵ボックスのワクチンを運び、案内してくれる地元のワーカーは大切な仲間です。事故に遭って働けなくなったワーカーのお見舞いに行きました。活動中、頭に巻いた布が列車に巻き込まれて、両足を切断する悲劇に。大好きだった仕事も失い、失意の彼女に笑みはありませんでした。

「私のことを忘れないでね」別れ際の一言は今でも、心に響きます。

ロータリーでしか体験できない出会いを、この感動をもっともっと多くの皆様にも味わってもらいたいと願っています。当地区からも1月に、横浜西 RC の中川俊彦会員、谷川公一 GN がパキスタンのポリオワクチン投与活動に参加してください。遠くない日に、ローターアクター達も参加してくれる日が来ることでしょう。それが私の願いなのです。



～第54回ロータリー研究会 裏方奮闘記～

今回のロータリー研究会はパシフィコ横浜で開催されましたので、RI 会長ご夫妻をはじめとする海外からのご来賓をお迎えするため、当第 2590 地区のエキスパートが集められ、通訳やおもてなしのセッティングなど裏方を務め、研究会を支えていました。

地区ロータリー研究会特別委員会の皆様、お疲れ様でした！

地区ロータリー研究会特別委員 クルーズ 由美子（川崎北）

昨年に続き、今年も RI 会長をはじめとする理事の皆様が来日される際のお手伝いをさせていただきました。今年のミッションは、① 11 月 17 日、スーザン・ステンバーグ理事、パートナーのヨーランさんの羽田空港お出迎え、ホテルチェックインのお手伝い、歓迎夕食会への参加 ② 11 月 18 日、スーザン理事ご夫妻、サルバドール理事ご夫妻、デイビッドマネージャーパートナーのクリスティン鎌倉観光への同行 ③ 11 月 22 日、フランチェスコ会長ご夫妻、ホルガー・クナーク委員長ご夫妻、ジョルジオエイドご夫妻、水野理事ご夫妻一行との鎌倉観光への同行でした。拙い英語で、何とか観光名所の由来や見所をお伝えしたくて、身振り手振りを交えて気迫で臨みました。鎌倉ロータリークラブの皆様の手厚いおもてなしのおかげで、普段なら見られない庭園など見学できて、お庭と紅葉の美しさに皆感激していました。お食事も懐石料理で、白子やあん肝などの珍味も出ましたが、皆様果敢に箸をつけていました。ご一緒する中で、理事の皆様に通ずる点がある！と認識したのが、①おしゃれであること、②体力があること、③知らない食べ物でも必ずトライするなど好奇心旺盛なこと、④真摯で礼儀正しいこと、⑤心が大きく、思いやりがあることでした。

ミッションを終えてみれば、理事の皆様楽しんでいただきたく奮闘したつもりが、逆に楽しませていただき、勉強させていただいていました。チャンスを与えていただき、心から感謝しております。鎌倉ロータリークラブの皆様のご協力にもロータリーの友情を感じました。ありがとうございました。

地区ロータリー研究会特別委員 都倉 直子（川崎西）

私は 2010-11 年度ロータリー青少年交換学生としてドイツに派遣していただいた ROTEX ということもあり、樋口 PG よりお声がけをいただき、主にクナークご夫妻のドイツ語通訳を担当させていただきました。ロータリークラブに入会して 9 年目となり、ロータリーについてそれなりに分かってきたところでいただいた大役でした。今でも年に数回、ドイツの方とお話しする機会がありますので、ドイツ語で会話をすることは比較的慣れておりますが、今回は同時通訳をするということで、未経験のことに大変緊張しておりました。前日にプログラムの内容が変更になることもあり、うまくできるかどうか不安でいっぱいでしたが、今回の私の目標は何よりも「楽しむ」でしたので、できる限りの準備をし、楽しんでやり切らせていただきました。

成田空港から横浜へ向かう車中で、ホルガーさんが RI 会長をされた 2020 - 21 年度は、コロナ禍であったために海外への訪問が叶わなかったことから、ロータリーの関係で日本へいらっしゃるのは初めてで、とても楽しみにしていると伺いました。その言葉を受けて、我々が日本のロータリアンの顔になるのだという緊張感と、同時に、クナーク夫妻にも楽しんでいただこうという気持ちがより一層強くなりました。最後に空港でお別れした際のおふたりの笑顔は、映像には残せませんでしたが、自分にとって、そしてこれからのロータリーライフに残る最高の思い出となりました。

この度パシフィコ横浜にて開催された第54回ロータリー研究会の中でも、特に印象的であったのが『パートナープログラム』におけるフランチェスコ・アレツォ RI 会長パートナーのアナ・マリアさんと、ガバナーパートナーの皆さまとの交流のひとつです。

当日アナ・マリアさんとホルガー・クナーク TRF 管理委員長パートナーのスザンヌさんと共に、簡単なご挨拶と質疑応答形式のディスカッションを行いました。ご挨拶内容を事前に打ち合わせした際、ご自身で経営されているビジネスやイタリアにいるご家族のことなどのお話を伺うことができました。ところが本番のご挨拶では非常に簡潔になっており私へのご配慮があったのだと感じました。

しかしその後のディスカッションでは、事前に伺っていた内容を皆さまにお伝えする場面があり落ち着いて通訳することができました。アナ・マリアさんの言動から「支え合うこと」「共に成長すること」の大切さや、参加者一人一人に寄り添う姿勢は、フランチェスコ RI 会長が掲げる「UNITE FOR GOOD」の精神そのものであり、この機会を通して私も一歩前へ踏み出せたような喜びを感じました。

地区ローターアクト代表 岡本 真理子（横浜南 RAC）



私たちの生活と活動の拠点である横浜に、RI 会長をはじめとする来賓の皆さま、そして日本各地から多くのロータリアンが集い、盛大に開催された今回のロータリー研究会。

私は第 2590 地区特別委員会に加え、第 54 回ロータリー研究会のメンバーとして参加し、この貴重な機会に携われたことを心より感謝申し上げます。

研究会では、友好地区行事でご挨拶した各方面のガバナーの皆さまと再び横浜の地でお会いでき、大変嬉しく感じました。なかでも印象深かったのは、私が制作したウェルカムボードをアナ・マリア夫人が気に入ってくださり、「デザイナーなの?」「自宅に飾るわ」と温かい言葉をかけてくださったことです。思いがけない評価に胸が高鳴りました。

わたし自身大きな役割を担ったわけではありませんが、準備から当日まで第 2590 地区特別委員会の皆さまの素晴らしいチームワークを間近で見て、来賓の皆さまにも日本らしい心遣いとロータリー精神が伝わったのではないかと感じています。

今回の学びに感謝し、ローターアクトの一員として、今後も友情と奉仕の輪を広げてまいります。

ロータリー財団学友 中東 愛（スポンサークラブ：川崎鷺沼）

今回の研究会では、パートナープログラム茶話会にて英語通訳を担当しました。中でも印象深かったのは、スザンヌ・クナーク様の英語のご挨拶の通訳です。急遽任され緊張しましたが、丁寧で内容豊富なお話を聞き逃さないようメモを取りつつ努めました。最後に“‘That's it!’ と締めくくられた際、ご自身も緊張の中で多くのご準備を重ねてこられたことが伝わり、私も心を込めて「これで以上です!」と訳しました。互いに安堵が広がった瞬間でした。

歓談では、温かい雰囲気の中で、参加者の皆様と和やかに交流しつつ、通訳として会話を整える役割も果たすことができ、大きな学びとなりました。長戸直前ガバナーによる素晴らしい琴の演奏の後、皆様が琴の体験に真剣に向き合う姿や琴を弾き終えた時の笑顔が印象的でした。特にアナ・マリア・アレツォ・クリシオーネ様が琴を演奏された後にお声がけした際に、喜ばれた笑顔がとても印象的で、親しみ深く接していただきました。

終了時には、ヨーラン様より「あなたは本当に素晴らしい通訳でした」と温かいお言葉を頂戴し、大変光栄でした。

事前に司会の原稿や挨拶文をご準備くださったパートナーの皆様のお心遣い、昨年に続き、通訳の機会をくださったロータリアンの皆様に深く感謝申し上げます。

地区活動報告（2025年11月）

● 次年度ガバナー補佐研修会報告

地区ラーニング委員長 露木 雄二（横浜瀬谷）

11月27日に第2回目のガバナー補佐研修会が実施されました。

はじめにガバナーより次年度に向けて、ガバナー補佐のRLIへの出席が義務となることから、更なる研修の充実を図るよう、また、2027年国際園芸博覧会への参加が予定されているとお話がありました。

桑原委員からは「ロータリーの原点について」と題して、「奉仕の理想と奉仕の理念」「三大サービス（1927）の誕生」について、一樂委員より規定審議会について変更部分などの共有を行いました。

樋口地区戦略計画委員長からは「行動計画推進リーダー部門」としてリーダー育成と在り方についてまとめられ、ガバナー年度では「先達を敬い」を地区目標としていたことに触れ、先達が築いてきたロータリーの歴史および原点をよく理解して、戦略計画を立て、推進していくようにとの話がありました。

ガバナーエレクトの総評では、ガバナー補佐の役割はとても重要なものとなっていること、地区の行事にはできるだけ出席していただくこと、またクラブが問題を抱えた際には、事前に察知し迅速にサポートするようとのまとめがありました。

鈴木正紀地区副幹事より、本日の研修を通じて得た知識を力として蓄えていただき、次年度の活動が充実したものとなることを祈念し、結びとなりました。



ガバナーエレクト 宮田 彰久（横浜南）

ラーニング委員長のご報告の通り、第2回目の次年度ガバナー補佐研修会が開催されました。

次年度ガバナー補佐のための研修はこれから1月と3月に、あと2回予定されていて、次回からは次年度地区副幹事17人も加わる予定です。いよいよ次年度に向けて、準備を加速して行きたいと思います。

次年度のガバナー補佐は、経験豊富で優秀な7人を選ばせて頂きました。各グループ内のクラブに寄り添い、クラブ運営の相談役やアドバイザーとして、グループを活性化させ地区全体を盛り上げて頂けるよう、ご活躍を期待しています。

地区副幹事は、例年よりも多い人数を選任させて頂きました。担当する委員会を複数の副幹事でフォローすることが目的ですので、ご理解頂ければと思います。

年が明けて1月10日に国際協議会（アメリカ・オランダ）へと出発します。17日に帰国してからは、各種委員会やセミナー、地区研修・協議会など、行事が目白押しです。国際協議会ではしっかりと勉強し、ガバナー補佐や地区副幹事の皆様と一緒に良いスタートがきれるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

今後の主な 2026-27 年度のための地区研修予定

1月26日(月)	次) ガバナー補佐研修会 ③	15:00～17:00	桜木町びおシティ研修室
3月9日(月)	次) ガバナー補佐研修会 ④	15:00～17:00	桜木町びおシティ研修室
2月20日(金)	次) 地区チーム研修セミナー	15:00～19:30(懇親会あり)	ソシア 21
3月17日(火)	会長エレクトラーニングセミナー (PELS)	10:00～19:00(懇親会あり)	ソシア 21
3月29日(日)	2026-27 地区研修・協議会	13:00～18:00(懇親会あり)	聖光学院中学校高等学校

※詳細は事前のご案内でご確認ください

● 今年度の RLI、パートⅢまでを終えて

地区 RLI 委員長 半澤 剛（川崎北）

先日、当クラブの例会において、川野 PG と樋口 PG が、RLI の思い出話をしていました。

当地区の最初のラーニング修了者としての苦労話を楽しそうに語り合っていました。親睦とは、このような姿ではないかと思った瞬間でした。

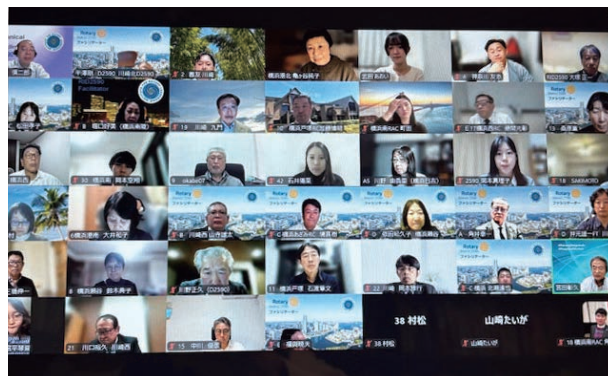
RLI は、ロータリーの歴史、哲学、理念、リーダーシップ等を 18 のテーマ（セッション）で約 18 時間をかけて学びます。ロータリアンとしての基本を学ぶ大事なラーニングの場です。具体的には、ロータリーの中核的価値観と言った 5 つのキーワード（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）を身に着ける「学び」などは、その 1 つです。

FT（ファシリテーター）として 5 年、地区 RLI 委員長として 2 年間、RLI で学んだ 7 年間は感謝に堪えない充実でした。この「学び」こそ、ロータリーが 100 年以上成長を継続しているファクターだと信じています。

それ故、RLI の今後の発展を念頭に、問題点発見や後継者の育成に目線を注ぎました。「学び直し（リスキリング）をどのように展開するか」「学ぶことの希薄さをどのように改善するか」、こうしたことへの議論をとりわけ副委員長とは、繰り返し検討しました。

その概要は、それなりの方々へのラーニングの義務化、FT の体制強化、ローターアクトへの RLI 参加等々でした。

当地区の RLI の実施状況は、現在 9 年目です。ラーニング修了者数は、100 人を突破しましたが、前年度は、修了者が僅かに 3 人でした。次年度は、新しい方法で、ラーニングの活性化を図ることが必須です。



● 地区クラブ活性化セミナー合同委員会 報告

地区クラブ管理運営委員長 渡辺 直昭（横浜鶴見北）

大塚ガバナー年度が始まり早くも 5 カ月が過ぎました。近年、地区の各委員会が個別に行動するだけでなく、情報のシェアリングをすることで地区全体の動きが見える様になり、ワンチームの協力体制でロータリアン同志支え合うべく、地区クラブ管理運営委員会が中心となり、11 月 28 日に地区の合同委員会を開催致しました。

年初 7 月 8 日にソシア 21 にて、地区内全クラブ会長、幹事はじめ 150 名以上のご参加を得て開催した「地区クラブ活性化セミナー」をあらためて振り返る機会も得られ、今後に向けて大変良い集まりになりました。

各委員会からの報告は以下の通りです。

規定・決議審議会委員会より本年度は世界的な規定変更等が行われた。色々な議題への採決があったが各国事情との共通性はどうかであったのか、**ラーニング委員会**はガバナー補佐への情報提供を中心に、**RLI 委員会**は RLI にローターアクターが参加している点、**会員増強委員会**より、今年度は新規ローターアクトクラブ・衛星クラブの設立もあり、数十年ぶりに会員数が対前年を越すことが出来そうではあるが、6 月末まで注視していきたい。**会員交流委員会**は希望の風チャリティーコンサート成功の報告。キャラバン隊を組んだことが良かった。**公共イメージ委員会**は当地区内ビル・電子掲示板等にて END POLIO NOW の広告設置、会員募集リーフレット作成等の報告。**ロータリーの友**地区代表より、活発な投稿のお願いや、当地区の海外での END POLIO NOW 活動の掲載についての PR。**クラブ管理運営委員会**は各クラブ・各委員会のお困り事を解決する、My Rotary 登録、活用の推奨を継続していく。また、現在地区および各クラブで導入している 3-Year Rolling Goals についての現況報告も**地区行動計画推進リーダー**よりありました。



地区活動報告（2025年12月）

● クラブサポートミーティング（第1～3回）報告

地区行動計画推進リーダー 樋口 明（神奈川）

クラブサポートミーティングは、各クラブの会長、幹事、会長エレクト、行動計画推進リーダー等を対象に、今年度より2ヶ月に1回（隔月5日）オンラインにて開催しています。

趣旨は、各クラブの「3-Year Rolling Goals」の進捗状況をチェックするために、クラブの実績、目標、現状を可視化、情報を共有、相談し、クラブの悩みを解消して、活性化に繋げてほしいというものです。

各回の主な発表者及び内容は下記の通りです。

第1回（8月5日）発表者：樋口 明

- ① 当ミーティングの趣旨について
- ② 実績及び目標入力フォームの提出状況等について

第2回（10月5日）発表者：川崎北 RC 谷口 一成会長

- ① 当地区初の衛星クラブ設立について
- ② 戦略的オープン例会を開催して

第3回（12月5日）

【クラブ独自の会員種別の導入事例】

- ① 発表者：横浜鶴見北 RC 渡辺 直昭会員
 - ジュニア会員、アンバサダー会員を導入し、会員増強、維持に成果を上げている。

【会員増強・維持の取組み事例】

- ② 発表者：川崎高津 RC 喜多川 亮平会長
 - 準会員制度を導入することにより、20代の会員の入会、米山学友の入会を達成した。
- ③ 発表者：横浜港南 RC 大井 和子会長
 - 分野特化型の衛星クラブ設立を目指している。
- ④ 発表者：横浜ベイ RC 浦野 哲也会長
 - 会員全員が会員増強・維持委員会の委員であり、クラブ一丸で取り組んでいる。

「まずはやってみよう！」という前向きなクラブは、会員増強でも好循環を生んでいることがよくわかりました。次回は、2月5日に開催いたします。

1月11日～15日アメリカ・オーランドで開催される国際協議会帰りの宮田彰久ガバナーエレクトより、どこよりも早く「RIの最新情報、次年度の地区方針等」について発表がございます。

乞うご期待ください。

● 2026-27 年度 RYE 派遣候補生第 1 回オリエンテーション・クリスマス会 報告

地区ロータリー青少年交換委員長 松田 啓（横浜鶴見北）

今年度も早くも半年が過ぎようとしています。来日生も日本に来て早い子は 4 カ月が経過しました。日本にもだいぶ慣れ、それぞれ差はあるものの日本語も上達してきました。そんな中、先日の 2026-27 年度派遣生の選考試験を経て、派遣候補生が初のオリエンテーションに参加しました。まだまだぎこちない派遣候補生も、半年後には見違えるようになって旅立っていくことと思います。皆様見守っていただければと存じます。

オリエンテーションの後はクリスマス会を行いました。大塚ガバナーサンタからもプレゼントが配られ、会場で ROTEX、来日生、派遣候補生がカラオケ大会で盛り上がりました。我々に馴染みのある曲もたくさん選曲してくれておりました。来日生のオリバー（カナダ）はカラオケが大好きとのことで、みんなで行くそうで、彼らの歌声を聞きたくて実施しましたが、気に入ってくれたようで良かったです。皆様もし彼らの歌声を聞きたいと思ったら、例会やイベントにお誘いいただき、機会を作ってみてはいかがでしょうか。



● 地区ロータリー財団補助金管理セミナー 報告

地区ロータリー財団委員長 鈴木 慎二郎（川崎マリン）

12 月 8 日（月）ロータリー財団補助金管理セミナーがソシア 21 にて開催され、地区関係者 40 名、50RC より 89 名、計 129 名のご出席をいただきました。

当地区におけるロータリー財団補助金管理セミナー出席は、補助金プログラムを使用するにあたっての必須条件です。皆さんからの寄付を原資としたロータリー財団の補助金は、公平・公正な使い方をしなければなりません。故に補助金を使うにあたっては「授与と受諾の条件」という詳細なルールが定められているのです。皆さんからお預かりした資金をしっかりと守っていくことも、資金をお預かりする立場の者の義務であり、責任であると思っています。地区の年次報告書には資金の使用状況などが記載されておりますので、是非ご覧ください。資金の使われ方は大切な問題です。これは何もロータリー財団に限ったことではなく、地区内全ての委員会活動にも言えることです。私たち会員は自分たちの負担した会費や分担金がどのように使われているか、無駄なく有効活用されているかなどを常に関心をもって見ていくことが、より良い地区活動に繋がっていくものと思います。



大塚正一ガバナー



鈴木慎二郎 地区ロータリー財団委員長



● 2026 学年度米山奨学生面接選考会 報告

地区米山選考委員長 石山 健人（横浜瀬谷）

12月14日（日）2026学年度米山奨学生選考試験を、谷川ビル地下2階にあるTKP横浜駅西口カンファレンスセンターにて実施しました。地区関係者27名、米山学友会から5名の体制で、各指定校から推薦された45名の外国人留学生の面接選考試験に臨みました。

今年度は指定校での学内選考の目安として、応募者の国籍割合に上限を設けて推薦していただきました。ご理解いただいた指定校の方々のお陰で、例年と比較すると国籍のバランスの取れた選考ができたと思います。翌15日は判定会議を行って合格者32名を決定し、世話クラブへの配属案も作成しました。1月中旬には各クラブに対して新規米山奨学生の受け入れのお願いをすることとなります。

米山記念奨学事業は、カウンセラーや世話クラブとの交流を通じてロータリー精神を学び、国際理解を深め、日本と母国の架け橋となる国際親善に尽くす人材を育てることを目標としています。ぜひ新たな奨学生を受け入れていただき、事業の発展と国際奉仕の実践にご協力をお願い申し上げます。

文庫通信

 Japan Rotary Clubs Library

 お問い合わせ

 ホーム
HOME

 書籍検索
Search

 利用案内
Information

 よくある質問
FAQ

 文庫について
About us

 HP

 394号

文庫通信 394号
ロータリー文庫

文庫通信 394号：ロータリアン 千玄室元RI理事を偲んで～ご講演より

- 「[夢は現実に](#)」 千玄室 / (D.2650 地区大会) / 2023/12P
- 「[ロータリーの感動、感激、そして感謝](#)」 千玄室 / (D.2650 地区大会) / 2022/3P
- 「[特別講話より](#)」 千玄室 / (D.2650 地区大会) / 2021/4P
- 「[PEACEFULNESS THROUGH A BOWL OF TEA- 一盃からピースフルネスを](#)」

千玄室 / 友：2022・9月 / 2022/10P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階
TEL：03（3433）6456、FAX：03（3459）7506

地区広報活動（ポリオ根絶）報告 パート②

地区公共イメージ委員長 山崎 美津夫（川崎マリーン）

ガバナー月信5号でも報告させていただきましたポリオワクチン投与映像のデジタルサイネージですが、今回は宮田ガバナーエレクトの会社（マルヤホーム 横浜市南区吉野町1丁目3-16）と大野第3G ガバナー補佐の会社（石野電気柿生店 川崎市麻生区下麻生2-39-1）にて発信していただくことになりました。

映像の配信や広告看板の設置をすることで、地域の皆様にもポリオという恐ろしい感染症のことや、その根絶を目指しているロータリーの活動を知って頂けると思います。

大塚ガバナーも月信6号のガバナーメッセージで記述している通り、ポリオを根絶するのは長い道のりかもしれませんが、絶対に諦めるわけにはいきません。今後も一人でも多くの方々にロータリーのポリオ根絶活動のことが伝わるように、発信していきたいと思っています。

地区公共イメージ委員会では、会員の皆様からのデジタルサイネージや、看板設置の場所の提供をお待ちしております。ぜひご協力いただけますよう今後ともよろしくお願いいたします。

● 宮田ガバナーエレクトの会社（マルヤホーム 横浜市南区吉野町1丁目3-16）



● 大野第3G ガバナー補佐の会社（石野電気柿生店 川崎市麻生区下麻生2-39-1）



他地区の地区大会に参加して②

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 大塚 正一

先月のご報告後、次の5つの地区大会に参加してきました。

⑧ 第 2600 地区（長野）：小林 磨史ガバナー（11 月 15 日～ 16 日）

長野県松本市で開催されたこの地区大会では、2つの大きな試みを行っていました。まずは「ペーパーレス」です。地区大会プログラムは印刷せずに、QR コードを印刷した名刺サイズの紙を渡され、スマホでプログラムにアクセスするという形式でした（来賓には後でプリントアウトを配布してくれましたが）。

また、通常はロータリーに関係したテーマを掲げて開催する地区が多いですが、ここの地区大会のテーマは「地域の防災・減災」でした。メイン会場外の展示もすべて防災グッズ、2日目の本会議もメインは地元の演劇団体による震災時の救助活動の劇でした。記念講演ではなく演劇を中心に地区大会を開催するという果敢な挑戦でしたが、見事に成功されていました。

講演だとどうしても睡魔に襲われることが多いですが、まったく睡魔に襲われることなく、楽しく観劇させてもらいました。小林ガバナーも出演されていました。

⑨ 第 2770 地区（埼玉・南東）：熊木 雄太郎ガバナー（11 月 15 日～ 16 日）

こちらの地区大会はパートナーが参加させていただきました。パートナーが持ち帰ったプログラムを観た感想は、「大変だっただろうなあ」でした。なぜなら、RI 会長代理は台湾からのパストガバナー、そのうえ韓国からも現役のガバナー（肩書は「ガバナー」でなく「総裁」）が来賓として参加されていたので。

本会議の講演は、池井戸潤氏を書いた小説「下町ロケット」のモデルになった植松努さんだったそうです。池井戸潤氏の小説は私も大好きで、実は当地区の地区大会の講演者にお招きしようと周りのメンバーに相談していたくらいです。植松さんのお話を聞けなかったのは非常に残念でした。

⑩ 第 2570 地区（埼玉・西北）：坂口 孝ガバナー（11 月 22 日～ 23 日）

坂口ガバナーご夫妻とは、国際協議会で非常に仲良くさせていただきました。坂口ガバナーは9月末から体調を崩され入院中のため、地区大会は直前ガバナーが代理を務めて、川越プリンスホテルで開催されました。ご自分の地区大会に出られないことは非常に残念なことではなかったかと想像します。

「小江戸」川越は下町の風情のある街ですので、初日は早めに到着し、メイン通りを散策しました。鎌倉や江ノ島に匹敵するくらいの街の賑わいにビックリ、神奈川県民の誇りが少し削られました。

また、RI 会長代理は招聘されていませんでしたが、その分の費用は晚餐会に費やしたのではないかと思います。趣向を凝らした晚餐会でした。地元の消防団による木遣、はしご登り（総勢 50 名くらい）、東京・浅草と大井から呼んだという芸者さん（総勢 12 名）の舞などで、下町小江戸・川越を演出していました。

二日目の本会議の講演は、薄口（改、濃口）政治評論家と呼ばれている元衆議院議員の杉村大蔵氏でした。「日本の政治・経済を語る」という演題で、高市政権後の公明党の離脱、維新の外部協力、中国を刺激したあの有事発言など、最新の話題の裏側を面白可笑しく話しをされ、飽きない1時間でした。「2025 年 10 月 10 日は、

長く続いた自公の連立体制の終焉という政治的な転換点として、将来、政治・経済の教科書に載るので、私の言った事を覚えておいてください」とのことでした。

（地区大会を成功裡に終えたとの報告を奥様から受けた坂口ガバナーは、地区大会5日後の11月28日、天に召されました。合掌！）

⑪ 第2660地区（大阪・北部）：吉川 健之ガバナー（11月29日）

地区の行事と重なり、現地での参加はできませんでした。代わりにという訳ではありませんが、大阪に多くの知り合いがいる川野パストガバナーが、京都での千玄室PGお別れ会の後大阪に赴き、地区大会に参加してくださいました。

この地区大会の特徴は、1日開催とハイブリッド開催という点です。ライブ配信するという画期的な地区大会、私はライブ配信を視聴しました。会場参加の登録者数900名、オンライン登録2,600名という報告でした（実際の視聴者数は最高時で200名強でした）。ライブ配信映像は、現地の会場の様子を映し出すだけでなく、来賓紹介、次第、クラブ紹介などのスライドや映像を写すなどの工夫がされていました。特に本会議開始前のロータリー紹介、吉川ガバナーの地区の現況報告、会員交流活動などの映像の作り込みは（ドローンなども使い）素晴らしく、地区の活動の活発さが伝わってきました。

記念講演は、元ロータリー平和フェローの国際ジャーナリスト・蟹瀬誠一氏の「グローバル時代の平和と人権」というテーマで、人権とは何か、戦争や貧困の中で人間の尊厳のために戦った英雄（ガンジー、キング牧師など）、また、身近な存在として黒柳徹子さんのUNICEFの親善大使としての活躍のお話をされました。内戦の続くアフリカの国で黒柳さんが子どもに言った一言「あなたの存在が希望です」こそ、人権とは何かのひとつの答えであると感じました。ハンセン病の訴訟の話もあり、勝訴した患者さんの「やっと人間になれました」という言葉にも、人権を侵害され続けた苦しみを感ずずにはいらませんでした。その他にも多くの方々の人権に関するエピソードが紹介され、私を眠りに誘わなかった、内容の濃いお話でした。

⑫ 第2620地区（静岡・山梨）：稲葉 雅之ガバナー（12月5日～6日）

第一日目は伊豆の川奈ホテルで、私は会長幹事会から参加しました。指導者養成セミナーでは、第2840地区（群馬）の田中久夫パストガバナーの「ロータリアンに期待すること」というお話でした。ロータリーを「知り」「好きになり」そして「楽しむ」ことが大切であり、ロータリーの目的は、人生の目的でもあり、それは「人格の完成」であると語られました。

さて、この地区大会も国際色豊かで、RI会長代理は台湾の女性パストガバナー（まだ40代）であり、フィリピン、タイからも大勢参加されていました。笑えたのはフィリピンのガバナーの英語のスピーチを日本語に訳したフィリピンの女性の通訳です。かなり適当で、「彼の話は長いから、要は〇〇です」「私が思うに〇〇です（と訳していません！自分の意見です）」そんな感じでした。会場は大笑いでした。まるで漫才を聞いているようでした。彼女ならタモリの外国語も、ちゃんと通訳できるでしょう（笑）。

二日目伊豆ベロドロームで開催された、国政政治学者・三浦瑠麗氏の「反動の時代にどう向き合うか」という講演は、今の時代（反動の時代、ポストリベラリズムの時代）には、「多様性と共生の再定義」「自身と経験を共有していない世代や人々の考えや感情の理解」が大切である、というようなかなか専門的で、非常に難しい内容でした。

RC地区大会 青少年交流交歓会

2025年11月8日(土)にパシフィコ横浜会議センターで開催された、
国際ロータリー第2590地区 地区大会青少年交流交歓会の様子をお伝えします。
当日は、IA・米山奨学生・RYE・ROTEX・RAC 約150名が集いました。

日本にいながらできる国際協力とは

株式会社シェリーココ代表取締役社長の川口莉穂氏をお招きし、国際協力というテーマで講話をいただきました。川口氏の国際協力への関心は、ロータリー青少年交換学生として高校時代にタイへ一年間派遣されたことが原点となっており、現地での生活を通じて途上国の抱える社会問題に直面し、大学卒業後には青年海外協力隊員として西アフリカのベナン共和国に赴任されました。現地では青少年活動の隊員として、現地の小学校や幼稚園で保健衛生問題の解決に向けた活動に尽力されました。協力隊の任務期間が終了した後も、現地女性の安定した雇用創出という目的のため、ベナンの豊かな色彩のアフリカ布を用いた浴衣の製作事業を立ち上げられました。

国際協力についての講話・グループ討論

タイからベナンに至るまでのさまざまな体験談を語っていただきました。特にベナンでの生活について、マラリアの感染源が蚊であることが現地であまり知られていなかったことや、重たい水を女性が何時間もかけて運ぶという日々の大変さなど、活動のリアルな声をお聞かせいただきました。国際協力の現場でしか得られない貴重な体験談は、参加した若者たちの胸に深く響き、国際問題への関心を高める大きなきっかけとなったことと確信しております。

講話後、私たちが日本にいながらできる国際協力について、RACがファシリテーターとなりグループ討論を行いました。国際協力は特別なものではなく、身近な行動から始まるということを深く学びました。

RAC活動紹介・交流会

交流でひろがる世代を超えたつながり

IA向けにRACの活動紹介を行いました。当地区RACには、IAの卒業生が現在13名在籍しております。今回は、IA活動との違いを比較しながら、RACに入って良かった点や、今後活動したい具体的な内容についてリアルな声をお届けしました。活動紹介後には、紙コップと紙飛行機を使用したゲームを実施し、親睦を深めることができました。IAで培った奉仕の精神を卒業後もRACで継続し、次世代のリーダーとしてRACの仲間に加わってくれることを心から期待しております。



例会情報

横浜市立大学RAC

- ① 所信表明
1月28日(水)
19:30~
- ② キャンパス内 いちようの館

初回例会

地区行事

- ① 第4回TH例会
2月3日(火)
19:30~
- ② 健康福祉センター 大会議室8A

横浜RAC

- ① チャリティーボウリング
1月8日(木)
19:30~
- ② 横浜駅付近ボウリング場

横浜南RAC

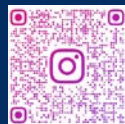
- ① 横浜港北RC 亀ヶ谷様ご卓話
1月14日(水)
19:30~
- ② 健康福祉センター

バイフロント横浜RAC

- ① ガバナー公式訪問 & 高齢者独居への支援について
1月25日(日)
16:00~
- ② さくらリビング第一研修室

公式Instagramで
活動の様子を更新中

フォロー・いいね
お待ちしております



来て来てロータリー



地区青少年奉仕委員長
佐藤 佳一
(新横浜RC)

佐藤さんから見た
ローターアクト

仲間を大切に
未来に向かって
前進する集団



2026年
1

月刊 No.07

あなたの未来に
どんなときも
FROM THE ROTARY

【新聞の作者】
地区RA増強委員長
所属：横浜RAC
宮平 琴音



新会員のご紹介



高橋 幸太

(川崎高津)

飲食業

2025年11月13日入会



中村 剛

(神奈川)

地方銀行

2025年10月27日入会



千田 努

(横浜北)

生命保険

2025年7月1日入会



三重野 妙子

(横浜北)

主婦

2025年10月21日入会



淡田 由貴

(横浜都筑)

通所施設

2025年11月12日入会



武 剛

(横浜金沢八景)

不動産・卸販売業等

2025年11月10日入会



野原 稔久

(横浜西)

建築施工

2025年11月26日入会

訃 報

謹んでご冥福をお祈り致します



角田 伯雄 (神奈川東)

令和7年11月5日 逝去 74才

2002年9月20日 入会

ベネファクター

MPHF

米山功労者マルチプル



麻生 富士雄 (横浜泉)

令和7年10月1日 逝去 77才

1990年6月29日 入会

MPHF

米山功労者マルチプル

創立会員

国際ロータリー第2590地区 2025年11月会員数報告(RC・RAC)

グループ	クラブ名	例会数	会員数()内女性				
			11月末日	年初7/1	本年度入会者	本年度退会者	本年度増減
1	川崎	3	60(4)	58(4)	2(0)	0(0)	2(0)
	川崎南	2	30(5)	29(4)	2(1)	1(0)	1(1)
	川崎幸	3	41(8)	40(8)	1(0)	0(0)	1(0)
	川崎大師	3	40(4)	42(4)	1(0)	3(0)	-2(0)
	川崎中央	3	45(12)	45(12)	0(0)	0(0)	0(0)
	川崎マリーン	3	35(4)	33(4)	2(0)	0(0)	2(0)
	新川崎	2	17(2)	14(3)	4(0)	1(1)	3(-1)
	小計		268(39)	261(39)	12(1)	5(1)	7(0)
2	川崎北	3	46(9)	36(4)	11(5)	1(0)	10(5)
	川崎中	3	40(4)	39(4)	1(0)	0(0)	1(0)
	川崎鷺沼	4	26(2)	25(2)	1(0)	0(0)	1(0)
	川崎中原	2	21(3)	21(3)	0(0)	0(0)	0(0)
	川崎とどろき	2	14(3)	12(3)	2(0)	0(0)	2(0)
	小計		147(21)	133(16)	15(5)	1(0)	14(5)
3	川崎西	4	64(3)	62(3)	2(0)	0(0)	2(0)
	川崎西北	4	23(2)	23(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	川崎百合丘	4	51(8)	49(7)	2(1)	0(0)	2(1)
	川崎高津	4	37(1)	34(0)	3(1)	0(0)	3(1)
	川崎麻生	4	25(1)	25(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	川崎高津南	2	18(1)	17(1)	1(0)	0(0)	1(0)
	小計		218(16)	210(14)	8(2)	0(0)	8(2)
4	横浜東	4	50(4)	51(4)	0(0)	1(0)	-1(0)
	神奈川	3	32(3)	32(3)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜港北	3	38(7)	38(7)	1(0)	1(0)	0(0)
	横浜鶴見北	2	32(3)	32(2)	1(1)	1(0)	0(1)
	神奈川東	3	44(3)	46(3)	0(0)	2(0)	-2(0)
	横浜北	4	21(3)	19(2)	2(1)	0(0)	2(1)
	横浜都筑	3	32(2)	30(0)	2(2)	0(0)	2(2)
	横浜日吉	3	40(8)	38(7)	2(1)	0(0)	2(1)
	小計		289(33)	286(28)	8(5)	5(0)	3(5)

* 川崎北RC会員数の内訳

川崎北	3	37(4)	36(4)	2(0)	1(0)	1(0)
川崎北YOKOHAMAロータリー衛星クラブ	2	9(5)	0(0)	9(5)	0(0)	9(5)

グループ	クラブ名	例会数	会員数()内女性				
			11月末日	年初7/1	本年度入会者	本年度退会者	本年度増減
5	横浜南	3	43(4)	43(4)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜港南	4	30(4)	26(4)	5(1)	1(1)	4(0)
	横浜旭	3	20(2)	20(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜瀬谷	4	26(4)	25(2)	2(2)	1(0)	1(2)
	横浜緑	4	24(4)	23(4)	1(0)	0(0)	1(0)
	横浜田園	4	21(2)	20(0)	2(2)	1(0)	1(2)
	横浜南陵	4	30(1)	30(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	新横浜	3	30(4)	29(4)	1(0)	0(0)	1(0)
	横浜あざみ	3	9(7)	9(7)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜南央	4	36(4)	35(3)	1(1)	0(0)	1(1)
	小計		269(36)	260(31)	12(6)	3(1)	9(5)
6	横浜	4	193(4)	184(2)	13(2)	4(0)	9(2)
	横浜磯子	3	19(2)	16(2)	3(0)	0(0)	3(0)
	横浜金沢八景	3	33(10)	31(9)	2(1)	0(0)	2(1)
	横浜中	4	52(11)	52(10)	1(1)	1(0)	0(1)
	横浜金沢東	3	27(2)	27(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜山手	2	25(6)	25(6)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜ベイ	2	39(6)	38(6)	1(0)	0(0)	1(0)
	小計		388(41)	373(37)	20(4)	5(0)	15(4)
7	横浜西	4	93(13)	85(13)	8(0)	0(0)	8(0)
	横浜戸塚	3	43(5)	42(5)	2(0)	1(0)	1(0)
	横浜保土ヶ谷	2	22(2)	22(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜戸塚西	4	16(1)	16(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜泉	3	21(2)	21(2)	1(0)	1(0)	0(0)
	横浜MM21	2	31(1)	30(1)	1(0)	0(0)	1(0)
	横浜戸塚中央	3	15(0)	16(0)	0(0)	1(0)	-1(0)
	小計		241(24)	232(24)	12(0)	3(0)	9(0)
合計			1820(210)	1755(189)	87(23)	22(2)	65(21)

RAC	横浜南	1	23(11)	18(10)	6(2)	1(1)	5(1)
	横浜	2	13(6)	9(5)	4(1)	0(0)	4(1)
	ベイフロント横浜	1	5(0)	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜市立大学	0	15(11)	0(0)	17(12)	2(1)	15(11)
合計			56(28)	32(15)	27(15)	3(2)	24(13)

クラブ数	会員総数(7月1日現在 1,755名)	本年度入会者	本年度退会者	本年度会員増減数
50RC	1,820名(内女性会員 210名)	87名	22名	+65名

クラブ数	会員総数(7月1日現在 1,787名)	本年度入会者	本年度退会者	本年度会員増減数
50RC・4RAC	1,876名(内女性会員 238名)	114名	25名	+89名